第３章

備えについて

1．災害時への備え

災害への基本的な対応

帯広市では、主な災害として「地震」と「水害」を想定しています。

地震はいつ発生するかわからないので、地震に備え、家具の転倒防止や窓ガラスの飛散防止など、地震による被害が少なくなるよう普段から対策をしておくことが必要です。

水害は、気象情報を知り、早めに備えることで危険を避けることができます。ハザードマップで自分が住んでいる地域や、行動する範囲の浸水想定を確認しておき、安全な場所に避難した方が良いか、自宅の上階へ避難（垂直避難）をすれば良いのか、予め考えておきましょう。

災害から身を守るためには、正しい情報をいち早く入手することが大切です。帯広市では、災害時にはホームページや公式SNSなど、様々なツールで災害に関する情報発信を行うので、常に複数の情報収集手段を確保できるようにしておきましょう。

市民の皆様に災害へ備えていただくため、公式Youtubeで防災に関する動画を公開しています。これらもご覧いただき、災害に対する備えをイメージしてください。

帯広市公式Youtubeページ「おびでお」 防災・防犯に関する動画		ハザードマップ（Web）	

備えておくもの

災害時はライフラインが止まり、物資の供給が滞る可能性があるので、生活に必要なものを備蓄しておきましょう。

食料品や水は最低３日間、できれば１週間分を用意してください。また、日用品やラジオなどの情報収集機器なども用意しておくと安心です。そのほか、トイレの処理剤やウエットティッシュなども必要です。

また、医療機器を使用できるよう、非常用電源（発電機やポータブル電源など）を備えておく必要があります。そのほか、冬に停電が起きた場合を想定して、電気を使わない暖房器具を備えておくと安心です。

災害発生時は

物の備えはもちろん、困った時や不安な時のための連絡先を決めておくなど、予め災害発生時を想定しておくことで、スムーズな避難が可能となります。日ごろからの備えを欠かさないようにしましょう。

また、災害時には誤った情報や不確定な情報が出回ることがあります。帯広市では、災害時公式ホームページを災害対応用に変更し、災害情報や避難所開設情報などを見やすくなるようにするほか、LINEやfacebookなどでも随時情報を発信します。帯広市から発信した情報を、確実に見るようにしてください。

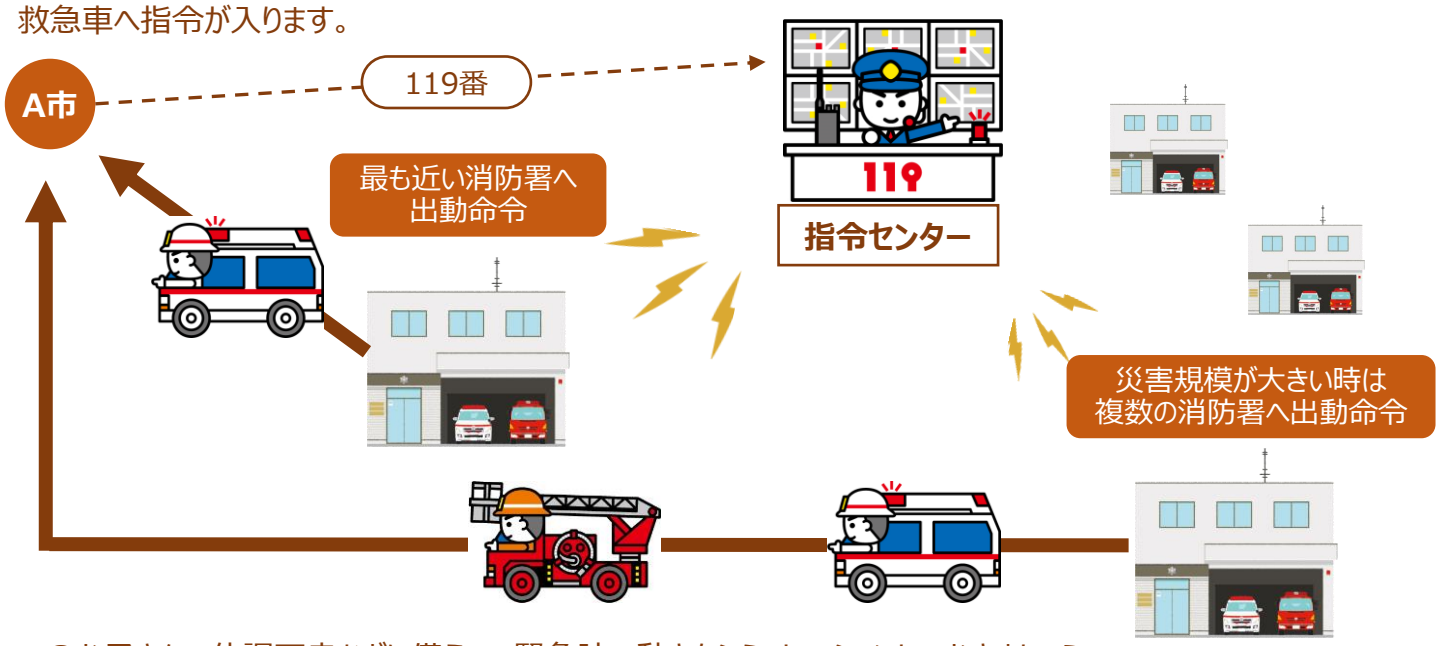
ご不明な点は市危機対策課☎65-4103までお気軽にご相談ください。

帯広市公式ホームページ▶

2．緊急時への備え

緊急時の対応（救急搬送）

〇１１９番通報をすると、とかち広域消防局　消防指令センターから、１市１８町村の最も近い距離にいる救急車へ指令が入ります。



〇お子さんの体調不良などに備えて、緊急時の動きをシミュレーションしておきましょう。

救急隊に伝える項目を事前に記載しておき、要請時に伝え、<u>到着時に見せましょう。</u>	持参する持ち物を整理しておきましょう。小児用が準備されていない場合があります。
１．氏名・生年月日(年齢) ２．住所 ３．かかりつけ病院名と担当医師の名前 ４．病名 ５．日常の医療的ケアの内容 ６．医師の救急搬送時指示の内容 ☆いつもと違う様子を、口頭で伝える。	【例】１．吸引器　２．吸引用カテーテル ３．予備カニューレ　４．蘇生用バッグ ５．酸素ボンベ　６．シリンジ 救急隊が実施できる医療行為は限られています。救急車には、保護者・指示を受けている看護師が同乗し、搬送中の医療的ケアを行いましょう

緊急時の対応について、事前に記載して見やすいところに保管しておきましょう

【例】

<u>１．連絡先</u>　△△病院　平日/日中(17:00まで)・・・・××－××××
休日/祭日　・・・・××－××××

<u>２．受診のタイミング</u>

●発熱(38.5℃)が続く　➡　平日/日中：小児科外来へ
夜間/休日：　Spo2値の低下がなければ、翌日へ

●Spo2値が80％以下が続く
心拍数60回/分以下・180/分以上が続く
➡ 昼夜問わず病院へ連絡
小児科医師の指示にて、救急車を要請

<u>３．気管カニューレ事故抜去時</u>　➡ ①　〇〇〇を実施する
②　×××を実施する
③　①・②の対応後、救急車要請する